

## 事業計画書

事業名	沼津兵学校の歴史を生かしたまちづくり事業
実施場所	沼津市西条町地内、沼津市民文化センターほか
実施予定期間	平成30年4月1日～31年3月31日

## ◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
	<p>※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。</p> <p>沼津兵学校の顕彰については、沼津市が関係団体と共に昭和14年に創立70周年記念祭を開催したほか、59年4月には沼津市明治史料館を開設して、その歴史的意義の普及に努めてまいりました。</p> <p>平成28年6月に発足した沼津兵学校創立150周年記念事業実行委員会では、これまで「沼津まちなか歴史地図」「沼津兵学校記念誌」の作成に向けた検討を進めるほか、記念碑の設置検討に加え、平成30年4月には記念式典事項委員会を設立する運びとなっています。</p> <p>同事業のうち、記念碑設置については、関係団体からの出資金・寄付金を充て、記念式典開催については市の教育委員会からの支援を受け実施していく予定である。</p> <p>なお、「沼津まちなか歴史地図」「沼津兵学校記念誌」の発行については、市民の歴史探求を後押し、市民の生涯学習の推進・中心市街地のまち歩き事業の活性化につながるものとして、まちづくりファンドを活用していきたいと考えている。</p> <p>○「沼津病院・駿東病院記念碑」の設置&lt;補助対象外事業&gt;</p> <p>①設置場所の協議(県道管理者である沼津土木事務所と平成30年4月から協議)</p> <p>②設置工事(見積もり結果により、平成30年夏ごろから制作し、12月末に設置)</p> <p>○沼津まちなか歴史地図を含む“まちづくりガイド”『沼津兵学校記念誌』の発行&lt;補助対象事業&gt;</p> <p>(A4判64ページ、3千部発行。地図は1万部印刷して、「まち歩き」などに幅広く活用する)</p> <p>① 記念誌原稿の作成</p> <p>② 印刷製本の発注(平成30年4月に発注し、12月に納品)</p> <p>③ 平成31年1月20日の記念式典で資料として配布</p> <p>④ 式典終了後、市内の博物館・地区センター・学校等に配布</p> <p>④ 事業終了後の31年4月以降、市内外の希望者に対して有料で頒布も予定</p> <p>○沼津兵学校創立150周年記念式典の共催&lt;補助対象外事業&gt;</p> <p>(会場は、沼津市民文化センターほか)</p> <p>① 記念式典実行委員会の共催団体の一員として式典を開催</p> <p>② 式典終了後に報告書を作成し、記録として保存</p>

## ◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

本事業で制作する「沼津まちなか歴史地図」「沼津兵学校記念誌」は、多くの市民の歴史探求を後押しするものとなるよう、市民が興味を持てる内容で構成していく予定である。

本事業では、セミナー開催や、まち歩きのような事業とは異なり、直接不特定多数の市民を対象とするものではないが、沼津史において重要な位置づけを占める「沼津兵学校」について取りまとめた資料の作成、デジタル地図の活用による「沼津まちなか歴史地図」を作成し頒布していくことにより、既存のまちづくり活動（歴史セミナーやまち歩き）の内容を更に充実させることが可能であると考えます。

## ◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <p>○沼津史において重要な位置付けを占める沼津兵学校の歴史、果たしてきた役割を知ることができることから、地域住民の郷土愛・歴史探究心の醸成を図ることができる。</p>
発展性	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>○多くの関係団体の参加と事業成果が後世に伝達されることにより、地域の近世から近・現代に至る発展の経過が理解し易くなり、既存のまちづくり活動（歴史セミナーやまち歩きなど）を、より質の高いものにつなげていくことができる。</p>
地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>○今まで知ることが難しかった城下町・宿場町・兵学校の歴史を連続性があるストーリーとして実感できるよう、デジタル手法による歴史地図を作成し、地域資源として活用した</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>○ 事業費については、市民・企業・行政などの理解を得ることができ、寄付金・協賛金等により事業費の80%弱を確保できる見込みである。 「沼津まちなか歴史MAP」「兵学校記念誌」の発行についても、予算の範囲内で対応できるよう検討してきたが不足が生ずることから、まちづくりファンドを活用して、質量ともに充実したものとしていきたい。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>○記念誌の作成について、徳川記念財団の協力を得ることができたこと ○沼津まちなか歴史地図の作成を市民・有識者による手作り教室において実施することができたこと</p>
継続性	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>○ 本事業の実施後は、この成果品である「記念誌」「沼津まちなか歴史MAP」の普及・活用を進めていくことになるため、新たな経費は不要である。（増刷する場合は販売という形で対応していく。） ○同事業については、地域の様々な団体（別紙名簿参照）の参画により進めてきたものであることから、今後もこれら団体と連携した持続的な顕彰・普及活動につなげていくことが可能である。</p>

## ◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

- 本事業は、地域の歴史を市民が実感して子々孫々に伝えることにより、郷土意識を向上させて沼津市の発展に直結する
- 沼津史談会を中心とした複数の民間団体が実施することにより、地域住民の参加が効果的に実現できる
- 沼津兵学校及び関連施設の設置者である徳川家の第18代当主・徳川恒孝氏が参画することにより、公益財団法人徳川記念財団の活動などを通じて、事業効果が全国規模に拡大できることから交流人口の拡大が見込まれる。